



香港市場の可能性紹介

県農務部主任招き講演会

大田原



香港への海外販路拡大について提言した斎藤淳一郎県農務部農地計画課主任

【大田原】市、市農業 講演会がこのほど、市 農産物販売会主催の「農政 役所別館会議室」開か

れ、県農務部農地計画課 斎藤淳一郎主任が「本 県農産物の海外市場への 販路開拓の可能性」香港 市場における消費者の評 価について」の題で講演 した。

農産物や加工品の海外 市場への販路開拓は、本 県、同市の農業の発展が 期待できることから、こ れまでの県の取り組みな

どを挙げ、今後の農業経 営に生かしてもらおうと 開催した。会場には認定 農業者の農業関係者約百 十人が集まった。

斎藤主任は二〇〇二年 から三年間、県香港駐在 員として香港で勤務。そ の経験を基に「農産物の 海外販路拡大は、人口減 少に伴う国内市場縮小に 対する打開策として必要 となる」と前置きした。

「にっごり」が二百五十 ケース、イチゴの「とち おとめ」五千五百パック が輸出された実績がある ことを紹介した。

その上で、大田原農産物の海外販路拡大策とし て①研修旅行などの機会 を利用し香港の市場調査 を実施する②在港のバ イヤーの日本出張の機会 に地元を招く③香港で 「那須与一フェア」(仮 称)「なごの農産物、加 工食材、観光資源などの 紹介フェアを開催する」 などの試案を提言した。